

第7巻 第2号 (通巻第14号) 2018年11月発行 ISSN 2187-0292

# 埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 7, Number 2

2018

特集

第47回 埼玉透析医学会 学術集会  
プログラム・抄録集  
第9回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2018



埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

# 埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 7, Number 2

2018

特集

第47回 埼玉透析医学会 学術集会  
プログラム・抄録集

第9回 埼玉アクセス研究会 PROCEEDINGS-2018

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

# INDEX

---

巻 頭 言 ..... 101

## 第47回埼玉透析医学会学術集会 プログラム・抄録集

会場案内図 ..... 105

参加者へのご案内とお願い ..... 106

発表論文原稿執筆要項について ..... 108

タイムテーブル ..... 110

プログラム ..... 111

### 抄 録

シンポジウム ..... 115

ランチョンセミナー ..... 121

コーヒープレイクセミナー ..... 123

一般演題 ..... 125

協力企業一覧 ..... 132

## 第9回埼玉アクセス研究会 学術集会 PROCEEDINGS-2018

proceedings 目次 ..... 135

わかりやすいレクチャー ..... 137

VA 開存の工夫 ..... 142

映像(画像・動画)で考える印象症例 ..... 153

一般演題 ..... 161

学術集会開催記録 ..... 177

2018年施設名簿 ..... 178

埼玉透析医学会会則 ..... 180

索 引 ..... 182

次回開催のご案内

## 第10回 埼玉アクセス研究会学術集会

会 期：2019年7月28日(日)

会 場：大宮ソニックシティ 4階 市民ホール  
〒331-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5  
TEL 048-647-4111

会 長：中川 芳彦(関越腎クリニック)

副 会 長：四宮 敏彦(大宮中央総合病院)

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。  
詳細は後日アップされる埼玉透析医学会 HP  
をご覧ください。

募集期間：2019年4月頃予定

共 催：埼玉透析医学会

事 務 局：埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター  
小川 智也  
〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981  
TEL：049-228-3523 FAX：049-226-6822  
e-mail：jinkojin@saitama-med.ac.jp



## 巻 頭 言

### 第47回埼玉透析医学会学術集会・総会に寄せて



埼玉透析医学会会長

松村 治

今回は7大会ぶりに大会長制を復活させて頂き、大会長を埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科教授山下芳久先生にお願いして学術集会を企画・運営して頂きます。医師以外の大会長は初めてで医工学の視点を反映した学術集会となることを期待しています。

振り返りますと先達のご努力により1987年5月「臨床工学技士法」が制定され、翌年4月1日に施行されてから早や30年が経過しました。法整備される以前から技士の存在は透析療法において必要不可欠なものとなっていました。国家資格となりその位置付けが明確となったことで、On-line HDFなどの精度管理を必要とする複雑な血液浄化法が一般的な治療法として普及し得た大きな力となっていると考えます。これからも透析機器は更に進歩するものと思いますが、高齢化が著しくかつ合併症を抱えた透析患者さんにより良い透析医療を提供するためには専門性の高い医工学の力を発揮できる臨床工学技士が必要と考えます。本年9月15、16日に川越で埼玉医科大学総合医療センター血液浄化センター長小川智也先生が主催された日本HDF研究会は多くの参加者を得て熱気のこもった会でありましたが、若い活気のある臨床工学技士が多数参加されており頼もしく感じました。本会においても若い方々の活発な意見交換がなされることを期待します。

今後埼玉透析医学会は、県全域から多職種の人材が活躍できる場となるようにしたいと考えています。大会長制の再導入と共に役員員の定年制を導入して組織の活性化をはかります。そして埼玉アクセス研究会をはじめ埼玉腎不全看護勉強会および埼玉県透析災害対策協議会などの県内の透析関連研究会・勉強会と連携することで、幅広い人材の活用と県全体の連携につなげたいと考えています。

最後に、本学術集会が県内の透析医療の質向上につながる実り多き会となることを祈念いたします。

2018年10月吉日



47<sup>th</sup> Annual Meeting of  
Saitama Society for  
Dialysis Therapy

Abstract  
2018

第47回埼玉透析医学会学術集会

---

- 大会長：山下 芳久 (埼玉医科大学保健医療学部)
- 日 時：平成30年12月2日(日) 10:00～
- 会 場：大宮ソニックシティ 国際会議室 (ホール棟4F)

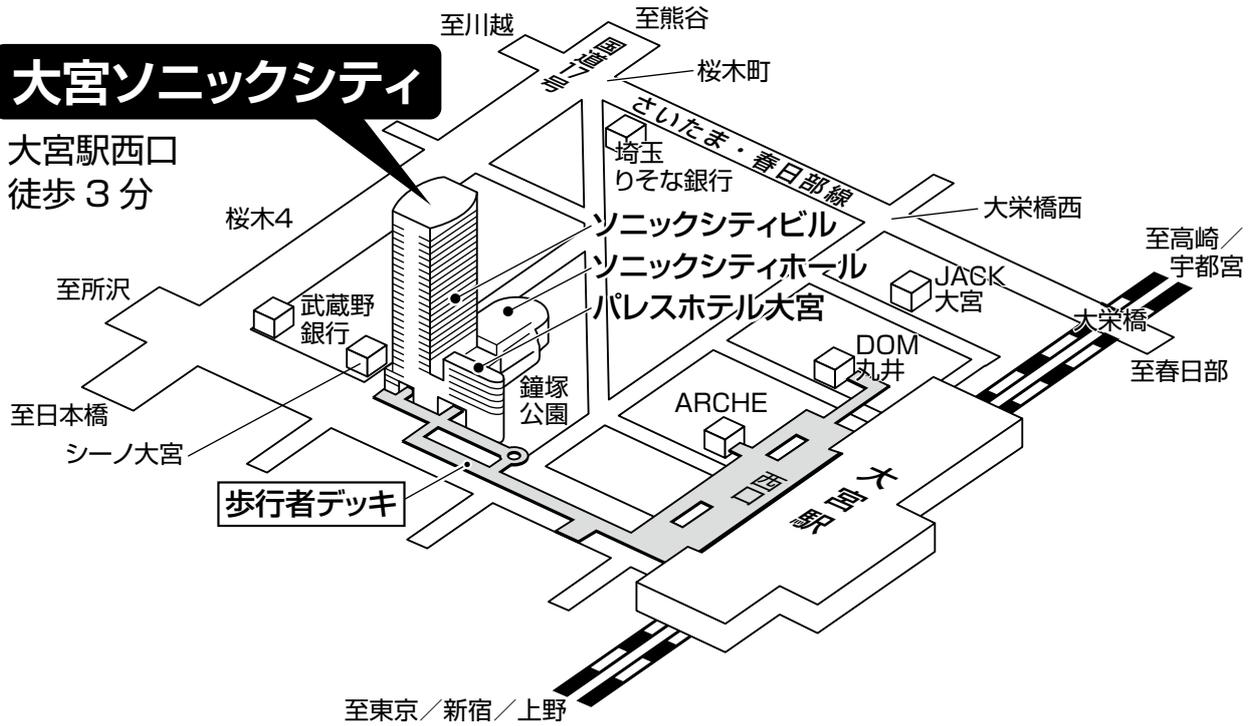
事務局：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38  
埼玉医科大学病院 腎臓内科  
TEL：049-276-1611 / FAX：049-295-7338  
URL：http://www.ssdt.jp  
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp



## 会場案内図

### 大宮ソニックシティ

大宮駅西口  
徒歩3分



歩行者デッキ

お問い合わせ

財団法人埼玉県産業文化センター（大宮ソニックシティ）

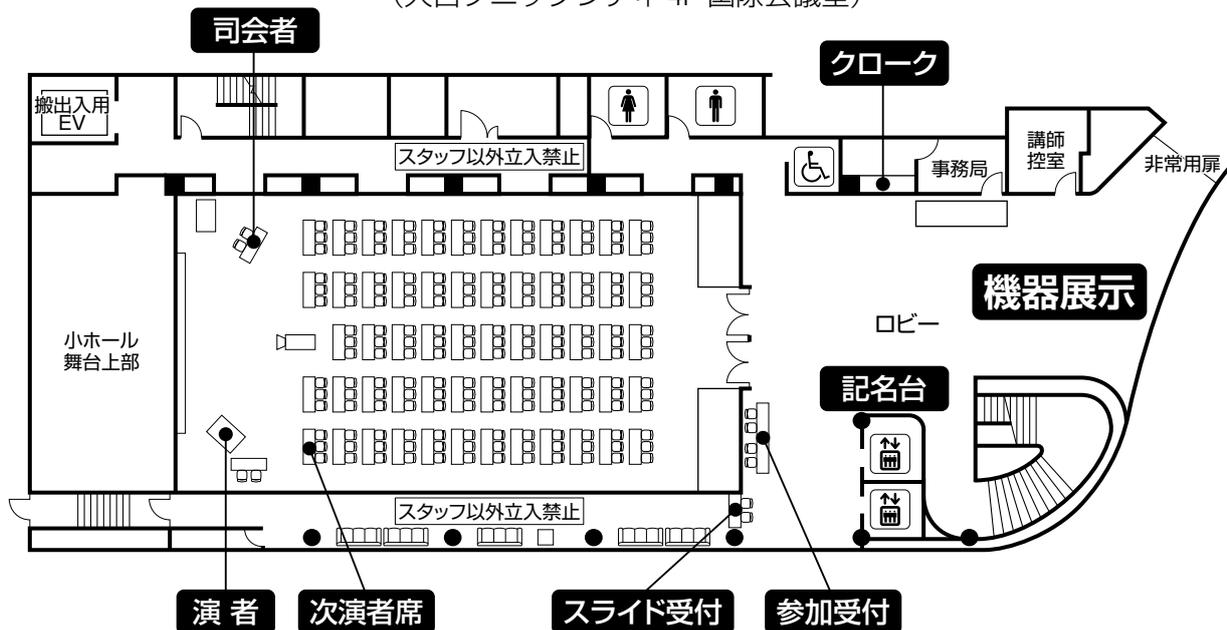
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5

ソニックシティビル5階 私書箱75号

TEL: 048-647-4111 TEL: 048-647-4159

## 会場見取図

(大宮ソニックシティ 4F 国際会議室)



## 参加者へのご案内とお願い

### ■参加者の皆様へ

1. 会 期 平成30年12月2日(日)
2. 会 場 大宮ソニックシティ ホール棟4階 国際会議室  
(さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5)
3. 参加受付時間 平成30年12月2日(日) 9:30～16:30
4. 開演時間 10:00～17:00
5. 参加費 一般:1,000円 学生:無料(受付で学生書の提示をお願いします)。
6. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにして下さい。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並び下さい。
7. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
8. クロックでは貴重品のお預かりはできませんのでご了承下さい。
9. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承下さい。
10. 一般演題の中から厳正な審査を行い、Best Presentation に対して表彰を行います。
11. 認定医制度による認定更新および新規申請希望者のための研修単位登録票学術集会参加(5単位)の発行を致します。参加証をご提示のうえ手続して下さい。
12. 透析療法指導看護師、透析技能検定の資格ポイント取得対象学会として認定されていますので、申請に使用される方は参加証明書を大切に保管して下さい。  
尚、今回より透析技術認定士のポイントは取得できませんので、ご了承下さい。

### ■司会・座長の方へ

1. 開始予定時刻10分前にはご準備下さい。
2. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示下さい。

### ■演者の方へ

1. 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
2. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。
3. 演者は発表時間の30分前までにスライド受付で必ず動作確認をおこなって下さい。
4. プレゼンテーションは Win Power Point (2007・2010)での作成に限らせていただきます。
5. 発表時間1時間前までに USB 等のメディアを持参し、PC 受付でご確認ください。

6. スライド進行はご自身で演台に設置してある PC を操作の上、お願い致します。なお、スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
7. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。後述する「利益相反自己申告に関するスライド例」を参考にしてください。
8. 閉会挨拶時に Best Presentation の表彰を行いますので、ご参加をお願い致します。
9. 埼玉透析医学会会誌に掲載する発表論文原稿を平成31年1月31日(木)までにご提出ください(詳細はお配りする「記録原稿執筆のお願い」をご参照ください)。

### 「利益相反自己申告に関するスライド例」

【スライド例】  
発表時、申告すべきCOI状態がない場合

**第47回 埼玉透析医学会  
COI開示**

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

【スライド例】  
発表時、申告すべきCOI状態がある場合

**第47回 埼玉透析医学会  
COI開示**

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	○製薬
⑦奨学寄附金:	○製薬
⑧寄附講座所属:	あり(○製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

## 発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌(第8巻1号)掲載用の論文として収載して頂くことをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは平成31年1月31日(木)までに下記送付先までE-mailまたはCDで提出をお願いいたします。

### ランチョン・コーヒークレイクセミナー

ご発表頂いた講演について総説としてご執賜りたくお願いいたします。

### シンポジウム・一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願いいたします。

### 会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会(以下「当会」という)は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

#### 1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの(抄録を除く)あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

#### 2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

#### 3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000程度、発表論文は4,000程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する(写真などは鮮明なものを使用する)。  
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。  
③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。  
※他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所に、半角上付で引用順に1), 2) 3~5)のように記載し、著者4名以上の場合は“…, 他”“…, et al”とする。

①雑誌の場合 著者名：論文名. 雑誌名巻：頁(初め-終わり), 西暦年

②書籍の場合 著者名：論文名. 書籍名(編者名), 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地, 西暦年

③誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものは Index Medicus の略称に準じる。

④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

#### 4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス)を記載する。

2) 本文はⅠ. 緒言(はじめに、まえがき)、Ⅱ. 研究方法(対象、症例、方法)、Ⅲ. 研究結果(結果)、Ⅳ. 考察、Ⅴ. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

#### 5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

#### 6. 校正

会誌編集委員の編集後、著者校正を依頼する。

#### 7. 原稿締切

平成31年1月31日(木)必着とする。

#### 8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

埼玉医科大学病院 腎臓内科内

埼玉透析医学会事務局 宛

TEL : 049-276-1611 FAX : 049-295-7338

URL : <http://www.ssdt.jp> E-mail : [jinnai@saitama-med.ac.jp](mailto:jinnai@saitama-med.ac.jp)

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了解ください。

2018年12月2日(日) 大宮ソニックシティ ホール棟4階 国際会議室

会 場		展 示	打合せ会場
国際会議室		国際会議室前ロビー	会議室501
9:00		9:00～	
9:30	9:30～ <b>開 場</b>	設 営	
10:00	10:00～10:10 <b>開会挨拶</b>		
	10:10～10:50 <b>一般演題1</b> 座長：竹田 徹朗(獨協医科大学埼玉医療センター) 塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター)		
	10:50～11:00 <b>埼玉腎不全看護勉強会の報告</b>		
11:00	11:00～11:40 <b>一般演題2</b> 座長：森下 義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター) 菅原 壮一(医療法人瑞友会 新河岸腎クリニック)		
	<b>休 憩</b>		
12:00	12:00～13:00 (共催:鳥居薬品株式会社) <b>ランチョンセミナー</b> <b>腎不全医療の現状と課題</b> 司会：熊谷 裕生(防衛医科大学校) 演者：水口 潤(社会医療法人川島会 川島病院)		12:00～ 13:00 <b>埼玉透析 医学会 幹事会</b>
13:00	13:00～13:30 <b>埼玉透析医学会総会</b> 議事進行：会 長・松村 治(医療法人朋社会 南古谷クリニック) 事務局・岡田 浩一(埼玉医科大学病院)		
14:00	13:30～15:30 <b>シンポジウム</b> <b>オンライン HDF の最前線</b> 司会：小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター) 山下 芳久(埼玉医科大学 保健医療学部) 演者：峰島 三千男(東京女子医科大学 臨床工学科) 田岡 正宏(医療法人偕行会 名港共立クリニック) 櫻井 健治(橋本クリニック) 星野 武俊(医療法人財団明理会 明理会中央総合病院 臨床工学科) 亀井 大吾(東京女子医科大学 血液浄化療法科)		13:30 ～14:30 <b>埼玉県 災害対策 協議会</b>
15:00			
16:00	15:40～16:10 <b>コーヒープレイクセミナー</b> (共催:小野薬品工業株式会社) <b>SHPT に対する新しい治療 ～ Calcimimetics 注射製剤を用いた管理方法～</b> 司会：中里 優一(医療法人博友会 友愛日進クリニック) 演者：池田 直史(埼玉石心会病院 腎臓内科・さやま腎クリニック)		
	16:10～16:50 <b>一般演題3</b> 座長：桑原 道雄(医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック) 鍵田 晋治(さいたま赤十字病院)	16:30～ 17:00	
17:00	16:50～17:00 <b>閉会挨拶・BPA 表彰</b>	撤 収	

# 第47回埼玉透析医学会学術集会 プログラム

平成30年12月2日回

9時30分 開場 10時00分 開会

---

## 開会挨拶 10:00～10:10

---

会 長：松村 治(医療法人朋社会 南古谷クリニック)

大会長：山下 芳久(埼玉医科大学 保健医療学部)

---

## 一般演題1 10:10～10:50

---

座長：竹田 徹朗(獨協医科大学埼玉医療センター)

塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター)

○1-1 ワーファリン(WF)服用透析患者の血中低カルボキシル化  
オステオカルシン(uc-OC)濃度について

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 松倉 泰世 他

○1-2 透析通信システムと電子カルテシステムの同時導入による業務変化の検討

医療法人朋社会 南古谷クリニック 秋葉 耕路 他

○1-3 当院のオンライン HDF に関連するインシデント・アクシデント

医療法人健正会 須田医院 佐藤 諒 他

○1-4 多用途透析用装置の補液ポンプの構造上の問題点とその対応について

医療法人蒼龍会 若葉内科クリニック 宮崎 真一 他

---

## 埼玉腎不全看護勉強会の報告 10:50～11:00

---

---

## 一般演題2 11:00～11:40

---

座長：森下 義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター)

菅原 壮一(医療法人瑞友会 新河岸腎クリニック)

○2-1 当院におけるエテルカルセチドの使用経験

埼玉医科大学病院 岩木 真生 他

O2-2 保存期慢性腎臓病患者における継続栄養指導による腎保護への影響

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 小林 恵 他

O2-3 透析中に下肢の運動を行い血流改善が図れるか

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院附属エイトナインクリニック 小林 宏美 他

O2-4 透析患者に対するリハビリテーションの効果

～当院回復期病棟との身体機能の比較～

医療法人蒼龍会 武蔵嵐山病院 田中 紀晶 他

---

**休憩** 11:40～12:00

---

---

**ランチョンセミナー** 12:00～13:00

(共催：鳥居薬品株式会社)

司会：熊谷 裕生(防衛医科大学校)

腎不全医療の現況と課題

水口 潤(社会医療法人川島会 川島病院)

---

**埼玉透析医学会総会** 13:00～13:30

---

議事進行：会 長・松村 治(医療法人朋社会 南古谷クリニック)

事務局・岡田 浩一(埼玉医科大学病院)

---

**シンポジウム** 13:30～15:30

発表時間15分、質疑応答3分、総合討論30分

『オンライン HDF の最前線』

司会：小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター)

山下 芳久(埼玉医科大学 保健医療学部)

SY-1 オンライン HDF 条件設定の理論的側面

東京女子医科大学 峰島 三千男

SY-2 安全で効果的な施行技術(各種治療条件とアルブミン漏出の制御)

医療法人偕行会 名港共立クリニック 田岡 正宏

SY-3 各種合併症及び高齢者に対する施行法

橋本クリニック 櫻井 健治

SY-4 透析液清浄化管理の最前線

明理会 明理会中央総合病院 星野 武俊

SY-5 I-HDF の特徴と効果的施行法

東京女子医科大学 亀井 大吾 他

休憩 15:30～15:40

コーヒーブレイクセミナー 15:40～16:10

(共催：小野薬品工業株式会社)

司会：中里 優一(医療法人博友会 友愛日進クリニック)

SHPT に対する新しい治療  
～ Calcimimetics 注射製剤を用いた管理方法～

池田 直史(埼玉石心会病院 腎臓内科・さやま腎クリニック)

一般演題3 16:10～16:50

座長：桑原 道雄(医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック)  
鍵田 晋治(さいたま赤十字病院)

O3-1 HIV 陽性透析患者の受け入れに関する意識調査

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 鈴木 裕子 他

O3-2 当院透析室における災害対策マニュアルの再考

埼玉医科大学病院 富永 昌孝 他

O3-3 災害伝言ダイヤル(171)の有用性の検証

医療法人慶寿会 さいたまつきの森クリニック 鈴木 慎也 他

O3-4 第1ブロックにおける災害用伝言ダイヤル171を用いた訓練

自治医科大学附属さいたま医療センター 内田 隆行 他

閉会挨拶・BPA 表彰 16:50～17:00

大会長：山下 芳久(埼玉医科大学 保健医療学部)



# シンポジウム

オンライン HDF の最前線

## オンライン HDF 条件設定の理論的側面

○峰島 三千男(ミネシマ ミチオ)

東京女子医科大学 臨床工学科

わが国では70%超の透析施設において超純粋透析液の水質基準が満たされており super high-flux ダイアライザを用いたHDが広く施行されている。一方、2012年の診療報酬改訂に伴い On-line HDF 汎用化の道が拓け、同治療を受ける患者数が増加している。わが国の欧州と比べた On-line HDF の特徴は、低血流量ゆえ大量液置換の前希釈法の適用が多いことである。

理論上、前希釈 HDF では置換液量が増大するにつれ小分子、中分子、大分子溶質の除去性能はそれぞれ減少、ほぼ不変、増大する。これは濾過に伴う溶質除去速度の増大傾向と分子拡散による溶質除去速度の低下傾向のかね合いにより決まる。一方実際の臨床では血漿蛋白の膜付着(ファウリング)現象の影響を受け、膜や浄化器の性能は経時減少する。これを完全に回避することは不可能であるが、限られた治療の中で、種々のプログラム(除水、血流、補液など)などを駆使することによってファウリングの影響を最小限に抑えることは可能である。

I-HDF は末梢循環障害の是正、plasma refilling の促進により透析低血圧症の予防等を目的として考案された治療である。逆濾過透析液を用いた I-HDF では膜の逆洗効果も付加され、ファウリングによる影響の大幅な削減に有効である。保険上では I-HDF はごく少量置換の On-line HDF とみなされ、ダイアライザに比べ細孔径を抑えたヘモダイアフィルタが使用されているため、現用膜型透析療法の中でもっとも蛋白漏出の少ない治療と位置づけられる。最近では積極的な溶質除去を目的に、On-line HDF に間歇補充を加えた On-line HDF with intermittent infusion も施行されている。

## 編集後記(第7巻 第2号)

本誌は第47回埼玉透析医学会に合わせて発行されるため、本誌が皆様の手元に届く頃には2018年も終わりに差し掛かる頃だと思います。2019年5月には元号の改正があるとされており、もしかすると今号が平成最後の会誌となるのかも…と多少のプレッシャーの中で編集後記を記載しております。

今年の10月に京都大学の本庶 佑(ほんじょ たすく)先生がノーベル医学・生理学賞を受賞される事が決定し、大変話題となりました。その際、多くのニュースで流れた本庶先生の記者会見のコメントで取り上げられていた言葉があります。

「いつもネイチャー誌やサイエンス誌に出ているものの9割は嘘だと思っています。まず、論文とかに書いてあることは信じない。自分の目で確信できるまでやる。」

これを聞いて、論文や学会誌に書いてある事を鵜呑みにするだけでは駄目なのだ、と思った方もいたのではないのでしょうか? そう思った方は是非、平成最後となるかもしれない第47回埼玉透析医学会に参加し、会場で発表者へ質問をぶつけてみてはどうでしょうか? それか、自分の目で確かめるという第一歩になるかも知れません。

多くの方にお越しいただき、満足して帰って頂ける学会となるよう、学会スタッフ一同 精一杯の準備にて、皆様のご来場をお待ちしております。

埼玉医科大学病院 臨床工学部

伊佐 慎太郎

## 埼玉透析医学会 会誌

---

発行日: 2018年11月7日

発行: 埼玉透析医学会

発行人: 松村 治

編集: 埼玉透析医学会 事務局

事務局: 埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL: 049-276-1611 FAX: 049-295-7338

URL: <http://www.ssdt.jp/>

E-mail: [jinnai@saitama-med.ac.jp](mailto:jinnai@saitama-med.ac.jp)

編集責任者: 岡田 浩一

編集委員: 小川 智也、金山 由紀、佐々木 裕介、伊佐 慎太郎、  
村杉 浩

出版: 株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL: 096-382-7793 FAX: 096-386-2025

---

定価: 2,000円+税